

いわいずみ 議会だより Iwaizumi

2015
1.15
No.

170

発行 岩手県岩泉町議会

まちの笑顔 88

あれ～、むずかし～よ～。
(関連記事 20頁)

昭島市への行政視察レポート…2

町の考えを問う (5議員が一般質問)…8

議員と語る会開催報告…16

新企画 岩泉のへえ～!…19

1650 食のお礼

絆、友好都市協定に華を添える

東京都昭島市と西多摩郡日の出町に平成26年11月7日から9日まで、行政視察を行いました。

水

が縁で、本町と20年来交流している昭島市が、

月31日に締結され、その絆は一層強くなりました。

第

46回昭島市産業まつりでの「お振る舞い」は、

今年度、市制施行60周年という節目にあたり、これまでの交流と復興支援に住民の代表たる議会として、謝意を伝えることが主な目的でした。

水と緑でつながる岩泉・昭島友好都市協定（※1）が平成26年10

6月から計画し、チラシにも掲載したため、これを目当てに来場した人もいました。長蛇の列が途切れることなく、大好評のうちに2時間半で終了しました。

1

日目は、昭島市議会議員等78人と交流会で意見を交わしました。

2日目は、昭和の森

交流会（※2）主催で、復興支援報告会がありました。本町議員が、支援を受けた内容などをスライドで報告。また、被災した議員が実体験を話し103人と交流を深めました。



11時から「お振る舞い」を開始。まちのうちに平らげました。650食のお礼は午後1時30分に終了しました

昭島市関連団体からの復旧・復興支援状況（平成26年11月8日現在）

団体名（敬称略・順不同）	目的	内容
昭島市・昭島市議会・昭和の森芸術文化振興会・国際ソロブチミスト昭島・東京昭島ライオンズクラブ・東京昭島中央ロータリークラブ・東京昭島ロータリークラブ・昭島市医師会・昭島市サッカー協会・昭島市フットベースボール協会・昭島地域交流ゴルフ大会実行委員会・昭島酒商組合・昭島田中町住宅自治会・復興支援の会“みんなのて”・東北地方岩泉町復興支援フェスティバル実行委員会・昭島市青少年フェスティバル実行委員会・サンコー機材(株)ほか	寄付金	2,641,056円
	義援金	3,473,630円
	図書等購入費	561,000円
	遊具等購入費	1,038,396円
	人的支援 23人・自動車 3台・扇風機 150台・掃除機 3台・LEDミニライト 920個・タオル・子ども服・生活物資支援等	

（※1）詳しくは、「広報いわいずみ」12月1日号をご覧ください
（※2）昭島市関連団体が主催した交流会

復興支援に感謝

昭島市民へ

これは、関係者の熱意により、狭い都会の中で、あと何年で一般廃棄物を捨てる場所がなくなるかという絶体

の組合は、多摩地域25市1町400万人の一般廃棄物の最終処分場を管理しています。平成18年度に国内唯一というエコセメント事業（※）により、一般廃棄物の最終処分量98%の大幅な削減を果たしています。



一般廃棄物の最終処分量 98%も削減

東京たま広域資源循環組合（日の出町）

絶命の状況から脱却した事例です。

本町における少子高齢化および限界集落の危機の打開に示唆を与えるものであります。



朝8時から仕込みに入り、予定どおり長蛇の列が、用意した鍋をたち「鮭のつみれ汁」1000食、「松茸のひつつみ汁」

幼年期から環境教育

昭島市環境コミュニケーションセンター



サイクルシステムを効率よく整備し、環境教育

に重点を置いた素晴らしい施設でした。



ゴミがセメントに変身！

幼年期からの意識の啓蒙を軸に置いた考え方は、本町における環境、健康等の分野に参考になりました。

分かりやすい復興報告



国際ソロプチミスト 昭島
会長 田中令子さん

「おぼんです」心が温かくなるいつものあいさつで始まった復興支援報告会。昭島市の関連団体が贈った義援金や支援の品が、どのように役立っているのか、映像を使って分かりやすく報告していただきました。

交流会では、短角牛肉やどんぐり麵などの特産品をいただきながら話が盛り上がり、岩泉の皆様の笑顔にパワーをいただいた一日となりました。

意欲の高さに敬服



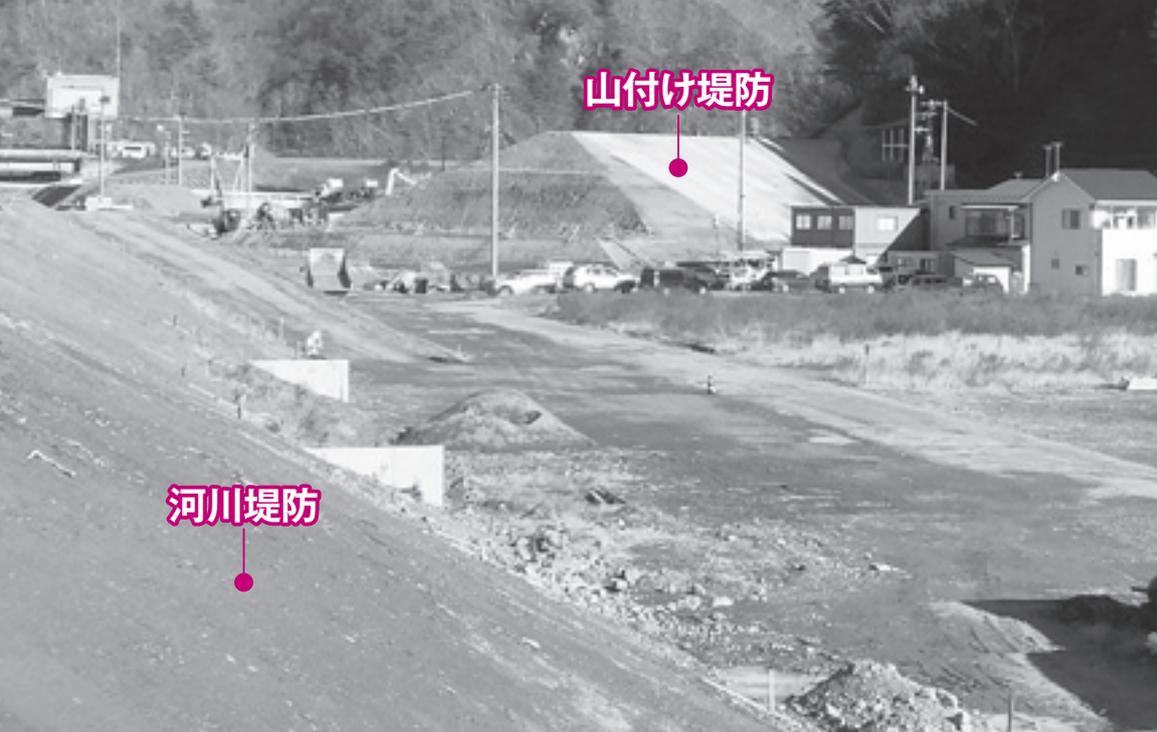
昭島市議会
議長 中野義弘さん

昭島市の市制施行60周年の記念すべき年に、当市の環境政策および産業振興政策についてご視察をいただき、誠に光栄に存じます。

行政視察における貴議会皆様の意欲の高さに敬服をいたしましたところでございます。

この視察が貴町のさらなる発展の一助としてお役に立てれば幸いです。

（※）一般廃棄物の焼却灰等をセメントの原料に混ぜてエコセメントを造る事業



漁師の産直施設等の用地と事業の促進を後押しする防災設備「山付け堤防」

12月定例会 の あらまし

12月定例会は12月3日から5日までの3日間にわたり開かれました。
一般質問では、5人の議員が登壇し、定住化策などについて質問しました。
条例改正や補正予算は特別委員会を設けて集中審査。その結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。

スタート!

携

携帯電話の不感世帯を解消するための補助金72万6千円の予算を可決しました。

これは、不感世帯解消のため、住宅内に小型無線基地局装置（フェムトセル）を設置し、使用を可能にするための運用経費を助成するものです。

該当要件は、①携帯電話を保有し、②携帯

電話事業者3社の電波が入らず、③レピーター

携帯電話 不感世帯の 解消へ

ター（増幅器）の対策が不可能な世帯です。補助対象は、フレッ

ツ光回線の利用料と初期費用（契約料および初期工事費）等です。今回の対象は、N T Tのフレツツ光サービスが開始されている区域内の21世帯を予定しています。釜津田・安家・有芸地区は平成27年度からとなります。実施期間は、平成26年12月から平成31年度までです。

冬こそ龍泉洞

あつたかおもてなし事業

冬

の誘客をはかるため、委託料200万円の予算を可決しました。

冬の龍泉洞は、地底湖の透明度が増し、冬眠中のコウモリを高い確率で見ることができず。これに、「食」を加えて、誘客事業を行うものです。

龍泉洞の「ポンテ」では、恋人の聖地を前面に出したスイーツな

どの食を提供する計画です。

また、冬期間は、炭鉱ホルモンを龍泉洞レストハウスで提供するほか、龍泉洞水まつりの日は、町の代表的な郷土料理である八杯豆腐やあんずきばっとう等の早食い大会を企画しています。

委託先は(株)岩泉総合観光を予定。



恋人の聖地を前面に出したスイーツで誘客をはかる龍泉洞の「ポンテ」



浜の活性化が期待される産直施設等の位置図

小本に漁師の産直施設

被

災跡地活用地域
活性化事業とし
て、「小本復興

のまちづくり拠点施
設」を整備するため、
実施設計委託料の予算
を可決しました。

総事業費は、約2億
円が見込まれ、平成27
年度の完成予定です。

施設の主な内容は、
次のとおりです。

① 小本の茶の間
誰でも気軽に立ち寄
ることができる。

また、祭りやイベン
ト・井戸端会議がで
きる場所。

② 浜の市

地産地消の実験的取
り組みができ、地場産
の材料と小本の人の手
による水産加工品の開
発ができる場所。

また、郷土料理の体
験ができる。

③ 体験学習の拠点

海を中心とした観
光・漁業体験等の活動
拠点、情報発信の場所。

【施設概要】

直販・食堂
加工室
市場広場・
駐車場等

【事業概要】

・建設場所 小本字家の向地内
・敷地面積 約5550㎡
・事業費
用地取得 約6200万円
造成費 約3000万円
施設費 約1億円

被災跡地活用事業 老人と海作戦

(※)

西里さんと上川原さんの再任に同意 町固定資産評価審査委員



にしさと たかお
西里 孝夫さん



かみかわら かずお
上川原 一夫さん

町固定資産税評価審査委員に、小川の西里孝夫さん(79)と岩泉の上川原一夫さん(73)を再任することに同意しました。

西里さんが平成27年3月3日で、上川原さんが平成27年3月4日で任期が満了となるため再任されたものです。

任期はそれぞれ3年間です。

条例改正と補正予算の主な内容

- ◇一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
一般職の給料を平均0.3%引き上げるものです。また、災害時等の管理職員特別勤務手当の支給について新たに定めました。
- ◇ふるさと納税謝礼 685万円(合計:1539万円)
ふるさと納税が増えたことにより、謝礼を増額しました。年間2100件の納税を見込んだものです。
- ◇学校施設防災機能強化事業実施設計委託 343万円
避難所になり得る学校施設の防災面を強化するため、工事の設計を委託します。
- ◇国内外研修交流事業補助金 80万円(合計:1050万円)
昭島市との友好都市締結を記念し、町から「一般の部」と「中学生の部」に2チームずつ計4チームを第60回昭島新春駅伝競走大会に派遣します。また、米国アールム大学からのインターンシップ2人を受け入れるものです。この事業実施に伴う費用を助成します。
- ◇指導用教科書等購入 965万円
平成27年度に小学校の教科書が全面改訂されることに伴い、教師用の教科書や指導書を購入します。
- ◇福祉灯油助成 700万円
灯油価格の高騰に伴い、町民税の非課税世帯で次の①～③のいずれかに該当する場合に、1世帯1万円を助成します。
①65歳以上の高齢者のみの世帯、②重度心身障がい者がいる世帯、③ひとり親家庭の世帯。



各地域の活性化等のために、復興支援員を募集します
(地域活動でにぎわう本沢廻自治会の流しそうめんの様子)

人口増加と 地域振興に 期待

復興支援員募集 業務委託を可決

条例補正予算審査特別委員会

条例補正予算審査特別委員会（野館泰喜委員長）では、
条例改正や補正予算を審査しました。

審査の結果、付託された 14 議案すべてを可決すべきと決定。その後の
本会議で、全会一致で原案のとおり可決しました。委員会の
審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。

- 問** 募集人員の予定数
は。また、町外か
らの採用者には、宿泊
施設をどのように考え
ているのか。
- 答** 町内外から 50 人
100 人程度を募
集する。宿泊先は応急
仮設住宅を予定してい
る。
- 問** 仮設住宅事業が終
了した後の対応は。
- 答** 空き家を活用して
いきたい。
- 問** 給料・報酬や賃金
はいくらか。
- 答** 給料等は、年間
200 万円 + α が
上限となる。財源は、
国の震災復興特別交付
税が見込まれる。
- 問** 上限が 200 万円
+ α では、人が集
まらないのではないか。
- 答** 応急仮設住宅に入
居すれば住居費負
担が少なくなるので、
収入としては妥当と考
える。
- 問** また、他市町村で同
様の事業を実施してい
るが、ある程度の人数
は集まっている。
- 問** 地域から要望が
あったのか。また、
詳細が決まっているの
に募集するのは、早
急ではないか。
- 答** 要望があったとい
うことではない
が、復興の促進や地域
振興のために、早急に
取り組む必要がある。

12 月補正予算の状況

会計名		補正額	補正後の予算額
一	一般会計	7 億 5360 万円	134 億 5369 万円
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	△ 1942 万円	15 億 7062 万円
	後期高齢者医療	880 万円	1 億 1010 万円
	介護保険（事業勘定）	77 万円	14 億 6514 万円
	簡易水道	13 万円	6 億 197 万円
	観光事業	509 万円	1 億 9563 万円
	公共下水道事業	52 万円	1 億 7222 万円
	大川財産区	△ 371 万円	159 万円

- 委託目的：町の復興と地域振興を担う人を募集する。
- 内容：インターネット上に広告を掲載する。東京都でイベントを開催する。
- 委託先：復興支援業務を行っている NPO 法人等を予定。
- 委託料：60 万円。(26 年度)
- 期間：5 年間。

ぴーちゃんねっと

動画配信の時間は60分程度配信可能

問 ぴーちゃんねっとで動画配信する時の画像の鮮明度は、どのくらいか。

答 解像度は、今より約2倍良くなり、60分程度流せるようになる。

問 議会の内容は、60分程度に編集し、議会終了後1週間以内には配信したい。

答 議会の内容は、60分程度に編集し、議会終了後1週間以内には配信したい。



問 スタジオ設置工事が、補正予算に計上されているが、アナウンサーの採用は。

答 アナウンサーは経験者の雇用を検討する。

小学校 デジタル教科書とは 複式学級に活用する

問 デジタル教科書とは何か。

答 パソコンの画面上に教科書があり、

クリック(※)すると図形が出てきたり、写真が大きくなる情報等が多く含まれているもの

のである。児童自身での利用が可能で、主体的な学びを推進できる。

来年度、小学校の教科書が全面改訂になる。本町に多い複式学級の指導を充実させるために、購入する。



近年になく高値で取引される短角牛の子牛

短角牛 子牛の価格高騰に打開策を 肥育農家へ補助金を交付

問 子牛が高額で売買され、子牛繁殖農家にとっては条件が悪いが、肥育農家には厳しい。

答 子牛が高額で売買され、子牛繁殖農家にとっては条件が悪いが、肥育農家には厳しい。

問 緊急支援に追加、基金を設け、難局を乗り切るべきである。

答 緊急支援として1頭当たり6万5777円を上限に42頭分、補正予算に計上した。これからは、販売促進

進をはかり、生産費の上昇を吸収できる仕組みを作りたい。

問 緊急支援に追加、基金を設け、難局を乗り切るべきである。

答 肥育から繁殖まで一貫経営を視野に入れながら、県の支援策の動向も含め考えていく。

農地貸借

新しい仕組みとは 中間管理機構が行う

問 農地中間管理事業協力金4058万6000円の内容は。

答 地域農業マスタープランを基本に据えたもので、担い手への農地集積・集約化により、農地の有効利用や農業経営の効率化を進めるものである。

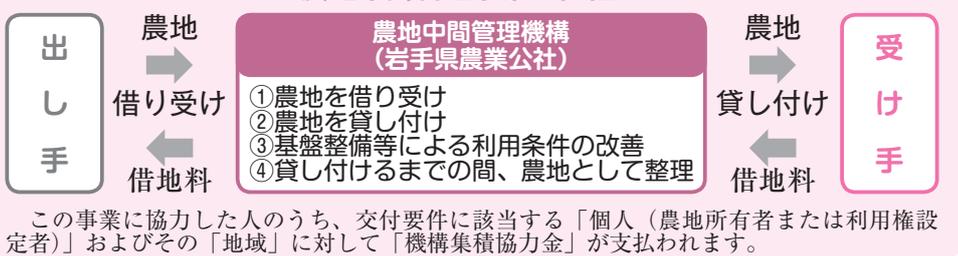
問 農地中間管理機構が、農地の借り受け・貸し付け、管理、基盤整備等の利用条件の改善を行うものである。

問 出し手の農家が地域で使える協力金は、面積要件があるのか。

答 地域内の農地面積の20%超えを農地中間管理機構に貸し付けた場合や離農する農家が農地を10年以上貸し付けた場合に該当する。

問 耕作者協力は、受

農地中間管理事業の仕組み



(※) パソコンの操作法の一つ。マウスのボタンをカチッと押すこと

請願・陳情

12月定例会に提出された請願は2件でした。

請願2件と緊急要請1件の審査を常任委員会に付託。本会議で次のとおり決定しました。

なお、陳情書1件と要望書2件は、議会運営委員会で協議し、議員と町当局へ資料配付しました。

採択

■岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願
▽請願者 岩手県保険医協会
会長 南部淑文

▽紹介議員 三田地久志

一部採択

■米価安定対策に関する緊急要請
▽要請者 新岩手農業協同組合 代表理事組 会長 久保憲雄

不採択

■「延期」ではなく消費税10%増税の中止を

求める請願

▽請願者 岩手県商工団体連合会・宮古民主商工会 会長 崎尾誠
▽紹介議員 林崎寛次郎

採

択した請願等の意見書は、議員発議で提案し、全会一致で可決。国や県の関係機関に送付し

ました。

■都道府県単独医療費助成制度における現物給付導入にかかる交付金削減の撤廃を求める意見書
■岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める意見書

■米価安定対策等に関する意見書

町の考えを問う

一般質問

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求め、そのことを言います。

この一般質問により、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にさせます。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

内容を要約して登壇順（質問順）にお知らせします。

なお、質疑全文を記録した会議録は、3月下旬ころから町立図書館または役場各支所図書室で閲覧可能となる予定です。

5人の議員が発言

～質問内容～

① 地域創生法への取り組みは
三田地久志 9p

① 林業振興にCLTの活用を
② 住みやすいまちづくりを
八重樫龍介 10p

① まちづくり策定方針は
② 民営保育園も0歳児保育を
③ 観光部門の充実強化を
坂本 昇 11p

① 単身者が入居できる住宅を
② 正職員保育士の確保を急げ
三田地和彦 12p

① 医療費助成の現物給付化を
② 住宅リフォーム奨励金を店舗にも
③ 三セク減資は、町民負担では
林崎寛次郎 13p



地域創生法への取り組みは

みたち ひさし
三田地 久志 議員

町の総合戦略を形づける

伊達 町長

町の考えを問う

三田地久志議員 ま

ち・ひと・しごと創生法(以下「地域創生法」)が制定された。これからは、地方自治体のアイデア勝負である。そこで、次のことについて聞く。

① 地域創生法に関する本町の取り組みは、三セク(※1)のホールディングス化(※2)と考えるが、進捗状況は。② 地域おこし協力隊(※3)を採用し、定住化をはかっているかどうか。

③ 誘致企業の海外協力拠点工場がある国々へ、龍泉洞の水を輸出できるよう、協力を求める考えはないか。④ 町には、小本川、安家川、撰待川の水系があるが、これを活用した誘客を進めてはどうか。

また、かつては無数にいた「カジカ」の養殖事業を行う考えはないか。



清水川龍泉洞特設釣り場の様子

⑤ ふるさと納税を目的としたファンドにしてはどうか。⑥ ICT(情報通信技術)を利用して、地域経済や雇用基盤の強化・再生を目指してはどうか。

⑦ 地方創生には困難が伴うが、乗り越える創意工夫と根気が求められる。今後の抱負を聞く。

伊達町長 国では、人

口減少の克服と地方創生に国と地方が総力を挙げて取り組む指針を定めている。国の動きを注視し、町の総合戦略を形づける。

① ホールディングス化は、町の最重要課題である。町、県および国との間で補助金や地方債の取り扱いの解釈に相違があり、この点を解消すべく、さらに詰

めていく。

② 東日本大震災の特定被災地方公共団体などを対象とした復興支援員制度を新年度から活用していく。

③ 誘致企業を介した町の物産の販売については、その可能性についてあらゆる機会を通じて企業等に働きかけていく。

④ 漁業権を有する各河川漁業協同組合と調査・研究を進めていく。⑤ 慎重に検討していく。

⑥ ICTを活用するため、環境基盤を整備し、情報発信をしながら、起業者と連携・支援していくことで町の活性化をはかっていきたい。⑦ ふるさと岩泉のために、住民とともに、自主・自立の気概で厳しい状況を乗り越えようとする強い意志を持って、町政を運営していく。

(※1) 第三セクターの略。国や地方公共団体等の公共部門(第一セクター)と民間部門(第二セクター)との共同出資で設立された事業主体

(※2) 持株会社のこと

(※3) 日本の様々な地域の振興を目指す総務省の制度



林業振興にCLTの活用を

やえがし
八重樫 龍介 議員

森林整備事業と合わせ検討

伊達町長

住みやすいまちづくりを 福祉施策を強力に推進



さらなる医療の充実を！

八重樫龍介議員 総面
積の9割を超える山林
を有する本町
にとって、林
業の振興は重
要である。林
業従事者の
年収は、約
200万円と
聞いている。
この金額で
は、次世代の
後継者の育成
はもとより、
林業の継続が



CLT製材で作られた建物(写真提供：銘建工業株)

難しい状況にある。
そこで、国際的にも

急速な伸びを見せてい
るCLT（木質構造用
材料の直交集成板）の
活用に強力に取り組
み、森林認証（※1）
材と併せ、木材需要の
拡大を喚起するべきで
はないか。
伊達町長 森林所有者
の集約化、機械化によ
る生産性の向上、安定
供給体制の確立や木材
加工業の支援・強化が
急務である。
「CLTの普及に向

けたロードマップ（行
程表）」が林野庁、国
土交通省において公開
され、利用に向けた条
件整備が進められ、今
後、実証試験が予定さ
れている。これらの結
果を注視し、CLTの
活用およびCLT用ラ
ミナ供給等について、
森林整備事業およびF
SC森林認証林拡大事
業等と合せ検討してい
く。

八重樫議員 まちづく
り町民アンケート（※
2）の調査結果で、「住
みにくい」が約21%も
あり、見過ごせない数
字であった。これが人
口流失の要因であるな
らば、最優先に取り組
むべき課題である。
原因と解決策をどの
ように考えているのか
聞く。
町長 「住みにくい」
と回答した要因は「交
通の便が悪い」「医療

施設が少ない」ことな
どが主な理由と捉えて
いる。
町民アンケートの結
果を真摯に受けとめ、
新岩泉町まちづくり総
合計画後期基本計画
（※3）において幹線
道路等の改良促進と医
師確保対策支援など、
町民に直結する福祉施
策をこれまでにも増し
て強力かつ着実に進め
ていく。

（※1）適正に管理された森林から算出した木材などに認証マークを付けることによって、持続可能な森林の利用と保護をはかる制度
（※2）平成26年6月にまちづくり計画策定のために、全世帯を対象に実施した調査。詳しくは「広報いわいずみ」12月1日号をご覧ください
（※3）各分野、各地域に関わるさまざまな課題や目指す姿を記した「まちづくり」の最も基本になる計画。後期計画は、平成27年度から平成31年度までの計画で、今年度策定される



まちづくり策定方針は

さかもと のぼる
坂本 昇 議員

町民の声を計画に反映

伊達 町長

町の考えを問う

坂本昇議員

新岩泉町まちづくり総合計画後期基本計画は、何に力を置いて、町民が納得するまちづくりを進めていくのか。

また、町政懇談会に、若者や女性層の参加が少ない。これらの改善・対応をどのように考えているか。

伊達町長 前期計画の実施

状況や、町民アンケートおよび町政懇談会での意見・提言などを総合的にくみ取って素案を策定した。特にも「定住化の促進」については、町の最重要課題として位置付けて取り組んでいく。

また、今ある産業の



定住化促進には子育て環境の充実が不可欠です

充実強化をはかりながら、一方で新たな起業の種を蒔くことを念頭に置き、策定している。若者の柔軟な発想や女性の意見は、活力あるまちづくりの大きな要素となることから、参加を促す取り組みを重ねていく。

民営保育園も0歳児保育を受け入れは難しいが研究する

坂本議員 0歳児保育は、子育て環境の均衡・充実のため、民営保育園も0歳児からの保育に対応すべき。

町長 3歳未満児は、発達段階において極めて大きな差があり、職員確保や設備の観点から、現段階では受け入れが難しい。平成27年度開園予定の小川こども園、小本こども園に整備される3歳未満児用保育スペースを活用しながら、保育ニーズに適切に対応できるよう、調査・研究を進めていく。

観光部門の充実強化を総合的な観光振興で検討

坂本議員 先般、ジオパーク推進協議会が立ち上げられ、総合的な観光推進に期待が寄せられるが、観光協会・観光ガイド協会・ジオパーク推進協議会・潮風トレイル等は、それぞれの部門で取り組んでいる。事務局の一本化やNPO化について、早急に取り進める

町長 組織の構成員が異なり、設立の目的に沿って、それぞれ活動している。しかし、目的の中には共通する部分もあるので、見直しも必要と思われる。総合的な観光振興を推進する上で、今後検討していく。



単身者が入居できる住宅を

三田地 みたち 和彦 かずひこ 議員

民間活用や家賃支援を検討

伊達町長

三田地和彦議員 宮古市、田野畑村などから町内の誘致企業や三セクで働いている多くの若者の定住化をはかるため、単身者が入居できる町営住宅の建築を行うべきである。

住居環境を整えることにより、結婚にも結び付くのではないかと**伊達町長** 民間賃貸住宅があることや若者という年齢の定義の難しさなどから、町営によ

る従来の住宅整備は難しい。

しかし、若者が町内に定住し、地域の様々な活動に参加することで、その地域内のコミュニティをつくり出し、さらに子どもから

若者、高齢者までバランスのとれた地域を形成することが「住み続けたい岩泉町」につなが

っていくと認識している。

新たな視点で、民間

等

の集合住宅の活用や賃貸住宅の家賃支援などについても検討していく。



定住化のために単身者用の住宅建設が望まれます

正職員保育士の確保を急げ 募集するも定員割れに苦慮



雇用の場には、保育士の確保も重要です(いわいずみこども園)

三田地議員 小本こども園と小川こども園が完成することから、保育士の確保は急務である。若い保育士が正職員を希望しない原因を分析したか。

本町出身者で保育士資格を持ちながら、町外や県外の保育園等で働く人もいる。こども園や保育園は、若者として男性も女性も働ける職場である。

保育士の確保と雇用について町長の考えを聞く。

町長 臨時保育士の勤務を希望した主な理由

には、「仕事と家庭の両立が難しい」「今より仕事や責任が増えた場合、やっつけていく自信がない」などであった。

本年6月に、正職員保育士の臨時募集を行い、3人を採用した。

平成27年4月採用については、5人の募集を行ったが、応募が2人のみであった。

今後、保育士養成校にも積極的に働き掛けを行うほか、資格を持ちながら保育現場に就職していない保育士の掘り起こしを行うなど、雇用に結びつけていく。



医療費助成の現物給付化を

はやしざき きょうじろう
林 崎 寛次郎 議員

制度導入時に積極的に進める

伊達 町長

町の考えを問う

林崎寛次郎議員 まちづくり町民アンケートの調査結果で、「魅力あるまちになるためには」の問いに、「医療・福祉サービスの向上」が58・0%、「子育てのために大切なこと」では、「出産や子育てにかかる経済的負担の軽減」が62・8%であった。

医療費助成を現物給付にすると、事務量や経費が削減され、患者、医療機関、行政にメリットがあるので、導入すべきと考えられているがどうか。



今の医療費助成は、窓口負担額を支払ってから、後で助成金が戻ってくる「償還払い」です

伊達町長 医療費助成の現物給付は、全県的な関係機関との調整が必要であり、町単独で行うことは困難である。県は、市町村や各種団体等から要望を受け、現物給付化を検討していく考えを示した。市町村に意向調査を実施し、年内には県としての方向が示されると聞いている。

住宅

リフォーム奨励金を店舗にも対象拡大を前向きに検討する

を見極めながら、積極的に対応していく。また、医療費助成の自己負担は、住民税が課税される一定の所得のある人には、応分の負担をお願いする。

林崎議員 住宅リフォーム事業奨励金は、来年度までとなっているが、継続については、検討していく。

また、住居部分に限らず、店舗部分にも対象を拡大すべきと考えるがどうか。

町長 住宅リフォームまた、店舗併用住宅に対する事業対象の拡大は、商店街の活性化のため必要であると考えている。

三セク 減資は、町民負担ではない 新たな町民負担はない

林崎議員 減資により三セクのホールディングス化を考えていると説明を受けたが、町民の負担になると考える。

町長 減資は、累積欠損金の解消などに有効な手法である。町民に新たな負担を与えるものではない。

(※) 1カ月1診療科あたり外来で1500円、入院で5000円の自己負担

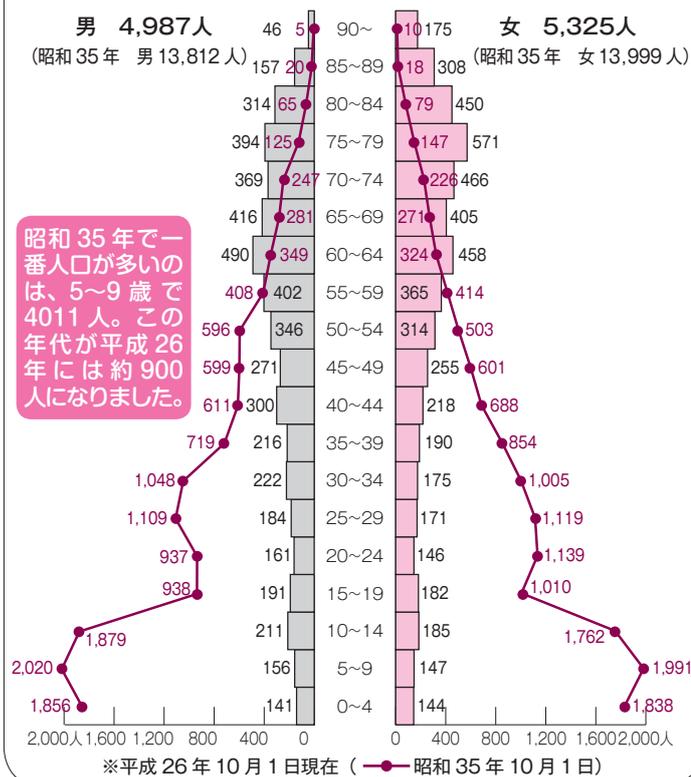


おしえて! まちのこと ②

テーマ

岩泉町の人口

年齢別男女別人口ピラミッド



人口の出典

明治11年…岩泉地方史、昭和35年10月1日…岩手県統計書、平成26年10月1日…町民課、2040年…日本創成会議の試算



12人は、137年前の明治11年と同じくらいだよ。

今から55年前の昭和35年が人口2万7811人で一番多かったですよ。現在の約2.7倍だね。今の人口1万3



岩泉町は、人口減少が進んでいるけど、一番多い時の人口は?



約40人が65歳以上の人になるよ。

昭和35年の高齢化率(※)は、5.37%で、100人のうち5人が65歳以上だったよ。今は、高齢化率39.48%だから、100人のうち



高齢化が進んでいると聞くけど、昭和35年はどうだったの?



町は、人口減少に歯止めをかけるよう、「定住化の促進」を最重要課題として取り組んでい

るんだよ。



25年後の岩泉町の人口が4662人になる可能性があるって聞いたけど。



さとう ちゅうぞう
佐藤 忠三さん
(門・82歳)

—当時の主な産業は。佐藤 炭鉱、炭焼き、木材の切り出し、製材が盛んでした。炭すご造りも忙しかったです。ホルスタインを飼っている家が多く、小川からも、岩泉の明治乳業まで運んでいました。鍛冶屋は、襷綿、門、名目入にあって、農業用のスキヤクワ、生活用の包丁など何でも造ってくれました。

また、小川炭鉱では、毎日4カ所で銭湯を沸かしていました。地区の人が無料で利用できるの、私も家族でよく利用しました。囲碁や将棋も盛んでしたよ。テレビは、昭和39年の東京オリンピックのころ、数軒の家で見られるようになりました。

岩泉町の人口が一番多かったころ
28歳だった佐藤さんに
当時の様子をインタビューしました。

—どんな娯楽がありましたか。佐藤 小川炭鉱の社宅の近くに、従業員の慰安施設として「希望会館」があり、週に1~2回映画が上映されました。小川じゅうから見に来ていました。サーカスやおなご相撲が来るのも楽しみでした。

(※) 65歳以上の人口割合

開かれた議会を目指して!

国から地方への権限移譲が進み、地方自治体の責任範囲が拡大していることから、町議会の果たす役割が重要となってきました。このような状況の中で、議会・議員の最高規範となる「岩泉町議会基本条例」の制定に向けて、議会改革調査特別委員会（佐々木久任委員長）を設置し、来年度施行を目指して協議を重ねています。ここでは、固まりつつある骨子をご紹介します。

行動の決意を条例化



他町村議会に出向き、勉強会を行いました(紫波町議会)

1 総則
2 議会の活動原則
3 議員の活動原則
4 町民と議会との関係
5 議会と町長等との関係
6 議会運営
7 議会と事務局の体制整備

検討している議会基本条例は、第1章から第9章まで全24条で構成されています。

8 議員定数と議員報酬
9 補則

この条例は、議会と議員個々人が自己の資質向上をはかりながら、町民福祉の向上と住みやすいまちづくりの実現のために、全力で応えることを決意するものです。

独自性にこだわって

議会改革調査特別委員会（委員7人）は平成25年6月7日に設置し、これまでに14回開催しました。

その間、岩手県立大学の齋藤副学長の講演、先進事例3カ所の視察等を参考にしながら、独自性にこだわった条例の制定に向けて取り組んでいます。

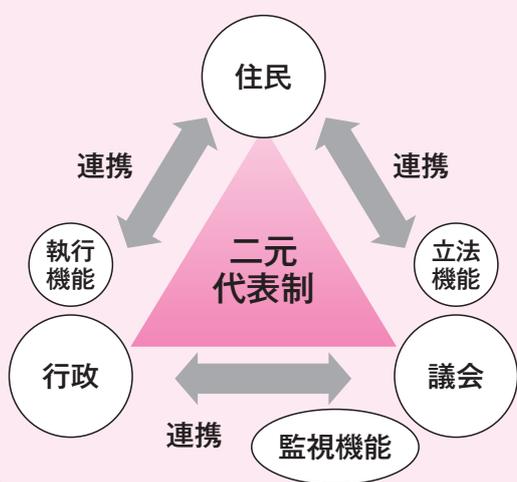
主な内容は次のとおりです。
■危機管理：災害対策支援本部の設置

■政治倫理：岩泉町議会議員政治倫理規定の制定
■議員間討議：委員会質疑

■町民との意見交換会：年1回以上を規定
■情報公開：議事録のホームページ掲載や議会中継

■議員定数：定数の基準は、地理的要件や類似町の議員定数と比較検討し、別に条例で定める

地方議会が目指すもの



づくりに多くの意見

町民の皆さんとの意見交換会「第4回議員と語る会は、11月14日から21日にかけて、昨年と会場を変えて、6地区で開催しました。延べ148人の参加のもと、9月定例会の報告と議会基本条例案の説明の後に、意見交換を行いました。ここでは、主な内容を掲載します。

議会運営・議員活動

問 ぴーちゃんねっとでの議会公開はどこまで進んでいるのか。(裏綿会場)

答 一般質問の公開など検討しているが、予算もかかるので町に要請していく。

問 議会を休日や夜間に行う考えは今までなかったか。(二升石会場)

答 検討は行われた。他町村で試みたところがあるが、変わらなかったと聞いている。町民の要望が多ければ検討するが、現在は考えていない。

問 議員報酬月額21万円では、若い人になり手がいないのではないか。議員一本で生活できるか。(大牛内会場)

答 議員報酬で生活は無理。改善も必要であるが、厳しい財政である。議員定数を削減して、上げるのも簡単ではない。

問 若い人が出席できない議員と語る会にして欲しい。(大平会場)

答 次の会は、若い人や女性と議論したい。次回の語る会では力を貸していただきたい。

問 提言や要望をくみ取りやすいシステム作りを願う。(大牛内会場)

答 傍聴者には意見箱の設置をしている。FAXやメールでも受付する予定。届いた提言等は、議会で取り上げ、活動に役立てたい。

問 議員が縁結び役になつて欲しい。(大平会場)

答 一助になるよう再認識して頑張りたい。

問 小本に漁協があるので、道の駅などで販売できるよう取り組みを。(栃の木・皆の川会場)

答 町が小本地区に加工場を新設予定。

答 岩泉の先進地の要素は、龍泉洞と第1次産業の振興にあると考える。特に山を有効活用した交流人口の拡大が大事である。

問 廃線になつた岩泉線のボックスカルバートを撤去できないか。木材の運搬が出来ない。(栃の木・皆の川会場)

答 JRから町に移管された後は要望に沿うよう取り組む。



乗用車1台が、ようやく通過できる幅(尼額のボックスカルバート)



町民の意見に聞き入る議員 (二升石会場)

問 先進地に行っているようだが、岩泉が先進地になり、迎えるようにしてはどうか。(浅内会場)

問 大きい除雪車が2、3月に納車されるが、それまでの間はどうか。(大平会場)

答 新しい除雪車が入るまでは今までの通り進めていく。

生活基盤



提言する参加者（浅内会場）

住みよい町

問 皆の川地区の防火水槽までの道路を舗装にできないか。（栃の木・皆の川会場）

答 用地を確保できれば、地域整備課で事業実施しやすい。

← 現地調査を実施。利用

定住化

頻度から、切削材を敷いて、整備するよう町へ要望した。

問 防災対策の推進。防災支援員の配置を（裏綿会場）

答 具体性を深め対応を提言していく。



笑顔があふれる住みよい町に！

ならない課題がある。

問 若年者の給与が安い割に、アパートの家賃が高すぎる。三セクの賃金がベースになっていると思われるので、給与を上げてほしい。

答 あるいは、20年間家賃を払い続ければ自分の家になるというようなことが出来ないか。（浅内会場）

色々な手立てを考えているが研究させていただきたい。

定住化に対しては、独身でも入れる住宅を訴えていきたい。

問 各地のイベントを旅行会社と相談してツアーを組んでどうか。（栃の木・皆の川会場）

答 各地のイベント開催日が違うので現状では無理だが、実現できるように要望していく。

子育て・教育

問 大川の保育園が3歳児からの受け入れで困っている。0歳児保育をしてほしい。（浅内会場）

答 民営の施設のために難しいと思われる。どんなことをすれば実現できるか要請していきたい。

問 二升石小学校は、26人の児童数であるが、地域の核となっている。児童数で決めるのではなく、地域の実状にあった町づくり計画をお願いしたい。（二升石会場）



後継者の育成を！町指定無形民俗文化財に指定されている二升石黒森流鹿踊附森山流大念仏

問 郷土芸能の後継者が不足している。補助等で育成できないか。（二升石会場）

答 小学生の頃から育成しなければならず学校教育で取り扱うべき。しかし、児童数が少なくなっているのが難しい問題もある。

答 学校統合の問題は、検討委員会が設置され協議中である。人数のことだけではなく、適正配置を訴えていきたい。

次回の議員と語る会は
5月の予定です

皆さんの参加をお待ちしています

半数以上が初参加

話しやすい雰囲気が好評



員と語る会では、参加者にアンケートの協力をお願いしています。

前回と同じく、60代の参加者が多い結果となりました。若い世代が参加できるような企画が今後の課題です。

ここでは、アンケートの回答の一部を紹介します。

意見

- ・ 毎回同じ会場でないのが良い。
- ・ 時間が短すぎる。
- ・ 皆さんが気軽に色々な意見を出させてもらいたい大変良かったのでは。
- ・ 議員と語る会も良いと思うが、住民の話を聞く会も良いのではないかと。
- ・ 人口急減策：協議会を早急に立ち上げるべき。
- ・ 議員と直接話ができることは、今後につながる。
- ・ 議会のあり方が詳しく良くわかった。
- ・ 議員皆様の資質向上に期待する。

	岩泉	小川	小本	大川	安家	有芸	合計
参加者	33	18	13	39	22	23	148
アンケート回収数	31	14	11	36	19	18	129

1. 性別

男性	女性
103	21

2. 年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
0	0	1	11	38	45	29	3

第7回臨時会

腰廻地区の切土造成

工事の契約を可決

平

成26年第7回臨時会は、11月10日に開かれました。

り可決しました。

■工事名
小本簡易水道取水井・管理棟建築工事

た。

腰廻地区切土造成工事

▽金額

この臨時会では、2つの議案が提出され、全会一致で原案のとおり

▽金額
2億2032万円

▽請負者

▽請負者 (株)畑中組

(株)西倉工務店

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は、

2月17日(火)開会予定です

傍

聴の手続きは簡単。名前と連絡先を書くだけです。

す。

審議日程の予定は次のとおりですが、変更される場合がありますので、詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

定例会の主な日程

- 町長の施政方針演説
2月17日(火)
- 条例・補正予算審査
2月25日(水)～26日(木)
- 一般質問
2月27日(金)
- 新年度予算審査
3月3日(火)～6日(金)

問い合わせ先

岩泉町議会事務局
電話 22-2111 (内線 252)
ぴーちゃんねっと 00-0252

ひとまひとインタビュー

12月定例会の傍聴者数はのべ12人でした。傍聴された方の中から、岩泉の八重樫さんご夫婦に傍聴した感想などをインタビューしました。



やえがし ひろこ やす
八重樫 弘子さん・康さん
(岩泉・57歳・63歳)

人口減少・過疎化対策 まったナシ

―傍聴のきっかけは。八重樫 ぴーちゃんねつとで町議会一般質問があると放送されたので夫婦で来ました。

―傍聴された感想はどうでしたか。

八重樫 思ったより静かに進められていて、傍聴人が少ないと感じました。各議員に番号がついていることが面白かったです。

次の議会を楽しみに、また傍聴したいと思います。

―議員に対する要望がありますか。

八重樫 色々なことを話し合っていると感じましたが、ぴーちゃんねつとの利用をもっとすべきです。例えば、議会中継などをしてはどうでしょうか。

―議会や町政に対する要望などはありますか。

八重樫 ぴーちゃんねつとという素晴らしいシステムがあるので、選挙速報、小さなイベント情報、火災などを掲載し、関心度を上げることも活性化につながると思います。

岩泉の人え〜!



名前のとおり、朝鮮半島で最初に発見された。日本列島が大陸と陸続きであったのではないかと想像させる貴重な



チョウセンアカシジミ

町指定 天然記念物 チョウセン アカシジミ

重な蝶ちよう。日本で最初に生体で発見されたのが田野畑村で、岩泉町でも確認されたことから昭和49年に天然記念物に指定された。

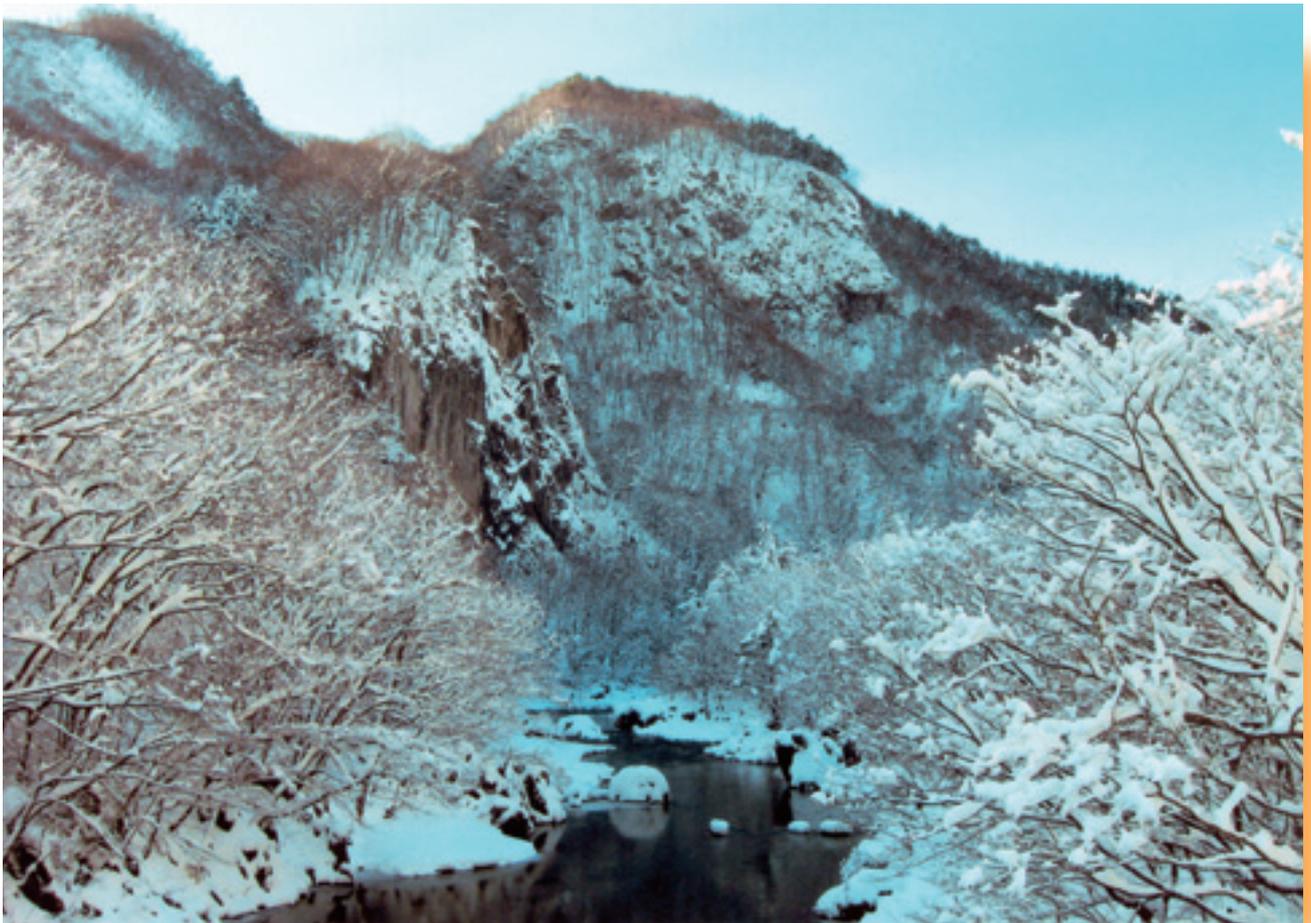
6月下旬から7月上旬にかけて羽化し、午後から夕方にかけて活発に活動する蝶であるが、飛翔能力は弱く、植樹木(トネリコの幼木)の周辺しか飛ばない。

交尾してから、翌日の午後1時頃から植樹木に産卵する。

(三田地久志)

町民のみなさんからも募集します。

持参または郵送で受け付けします。
〒027-0595 (住所不要)
岩泉町役場議会事務局



たんどう
丹洞

四季折々の姿を見せてくれる「丹洞」。私は、特に冬が好きです。

鼠入川橋の真ん中に立ち、丹洞を眺めると、150メートルの断崖絶壁の白い岩肌、そして雪で真っ白く

いわいすみ再発見

なつた木々、静寂な川。心が洗われるような景色です。

雪が降ったら、皆さんも心を綺麗!?にするため出かけてみては…。

西川 啓介(岩泉 42歳)

町内の写真愛好家が撮影した
本町の風景を紹介するコーナーです。

私・の・好・き・な・ア・ン・グ・ル・㊦

表紙にみせて

岩泉地区歳末助け合いで「お振る舞い餅つき」に協力してくれた岩泉中学校の生徒達。この後、ポランティアの皆さんにより、あんなこときな粉の餅が振る舞われました。



編集後記

ぴーちゃんねつとが、全町に普及され、住民と議会がさらに近くなったと感じています。12月定例会は、急速な少子高齢化、若者の定住化の問題など活発な質疑が行われました。

来年度は、広報編集委員会が常任委員会になる予定であり、役割も大きくなるものと考えます。見やすい、わかりやすい広報づくりに努めたいと考えています。

(編集委員長 合砂丈司)

議会広報編集委員会

議長	加藤久民
委員長	合砂丈司
副委員長	三田地久志
委員	八重樫龍介
	林崎 竜次郎
	野館 泰喜
	坂本 昇



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町の連携により実現した「森の町内会—問伐に寄与した紙—」を使用しています。